

テスト設計書が適切か、気になりますか？

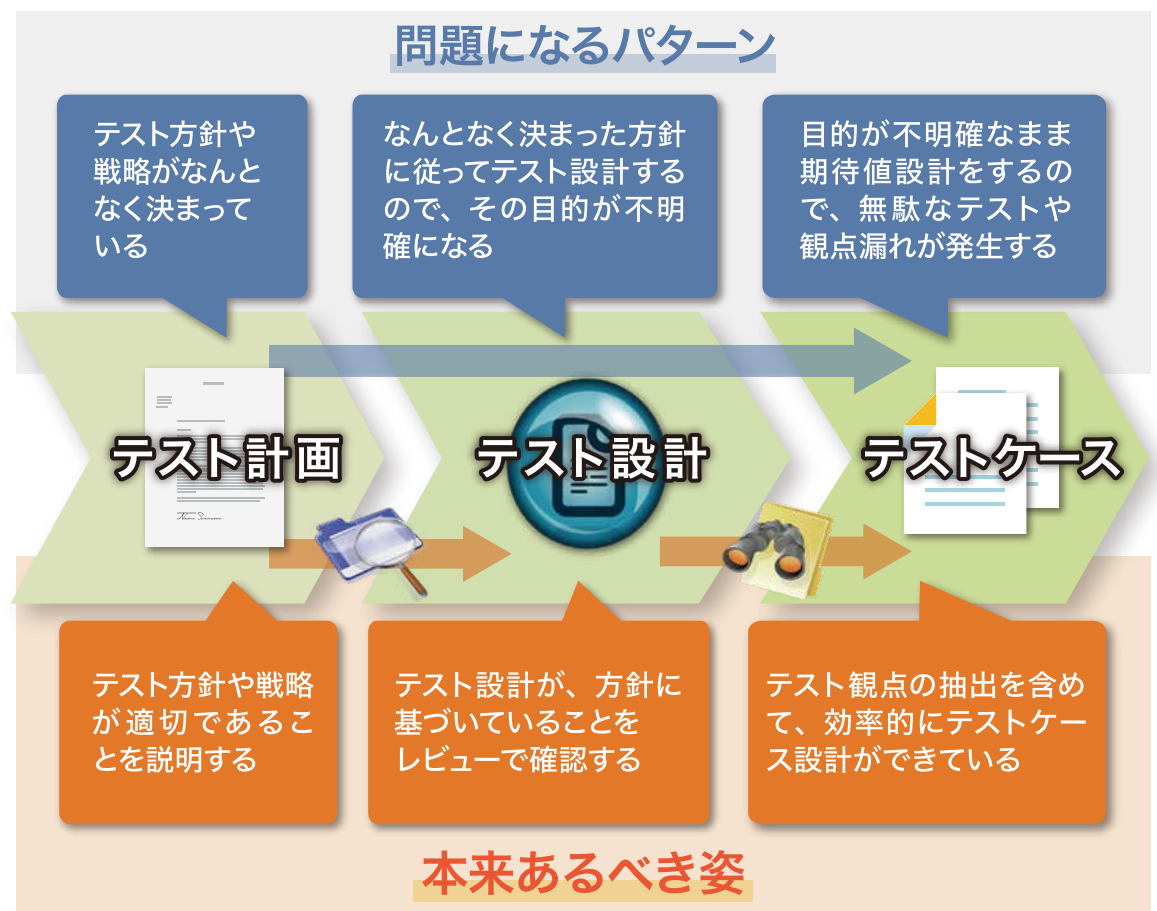
テスト設計書診断サービス

ソフトウェア・テストにおける
よくあるお悩み

- ✓ テストが効率的にできているか、無駄はないか、不安になる？
- ✓ テストをどこまでやったらいいか、テスト計画時によく悩む
- ✓ テスト設計が正しくできているのか、わからない



これらは、テスト計画におけるテスト方針から、
テスト設計の検討が十分でないために発生します



テスト計画からテストケース設計までの一連の流れを確認することで、テスト設計のカバレッジが適正かどうかを判断することができます。

サービス概要

- ・テスト計画時に立てたテスト方針どおりに、テストが設計されているかどうかを確認します。
- ・開発プロジェクトで発生した不具合を分析し、テスト方針やテスト設計時の観点に不足がないかを確認します。
- ・上記2つの視点から、問題点の報告と改善案をレポートいたします。

1. 不具合や、テストベース・テスト設計書から、テスト漏れの分析を行います。

テストケース分析

仕様書に記載があり、テストケースにない事例の確認

【結果】

β機能で1件発見

機能	評価クラスA/Bの不具合総件数	発見数
α	18件	0件
β	16件	1件

他のテストタイプとの整合がとれていないために、不具合に繋がったと思われるものを、4件発見

機能	評価クラスA/Bの不具合総件数	発見数
α	18件	2件
β	16件	2件

2. テスト漏れが発生した原因を究明します。

診断結果からの考察

<課題>

テスト設計技法のスコアが「未達」となるため、このキーエリアからの改善をお勧めします。「未達」の要因として、以下があります。
テスト計画書において要求分析からの目的や設計方法などが記載されていますが、テストケース(項目書)レベルでは計画書で定義された目的や設計方法との整合性を確認する記述が乏しく、網羅性を判断出来ません。

⇒上位文書(テスト計画書や基本設計書)との整合性を維持出来ているか確認するのが難しくなり、テスト項目書に落とし込まれないテスト条件が発生しやすい状況にあると考えます。

テスト計画

テストアイテム設計

テストケース設計※

※貴社のテスト仕様書は上図におけるテストケース設計フェーズでのアウトプットになります。

3. 原因に対する改善を提案します。

改善案1

<テスト観点表の活用事例>
・スマホアプリのテストで、観点表を導入



改善案2

<重交差適用事例>

【適用プロセス】

1. 障害傾向から、障害が多い機能や、高確率を抽出する
2. 因子(例えば、機能・水準・パラメータ)を整理する
3. 整理した因子・水準は、PLや開発担当者とレビューを行う
4. テスト実行後、振り返りを行い、次の段階を検討する
5. これを繰り返す(本事例の場合、4回実施)

【適用イメージ】



改善案導入効果

<テスト観点表の活用事例>

・導入前と導入後でテストケース内での不具合検出率が向上しました



・ご用意いただくもの

- ・テスト計画書
- ・テスト設計書
- ・不具合報告書
(テストケースから発見されたもの、そうでないものが識別できるもの)。
- ・リリース後に市場で発生した不具合※オプション

課題に応じて、改善策を別途ご提案させていただきます

株式会社 ベリサーブ

<https://www.veriserve.co.jp>

私たちの使命は、市場に投入される
IT関連製品およびシステムの検証を通じて、
より快適なIT社会づくりに貢献することです。



本社

〒101-0061

東京都千代田区神田三崎町3-1-16 神保町北東急ビル9階
TEL:03-6629-8540 FAX:03-3288-8223

西日本支社

〒541-0041

大阪府大阪市中央区北浜1-8-16 大阪証券取引所ビル19階
TEL:06-6223-6110 FAX:06-6223-6111

中部支社

〒461-0001

愛知県名古屋市東区泉2-27-14 関電不動産高岳ビル13階
TEL:052-325-5010 FAX:052-325-5030